

〈第21回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会〉

全 体 報 告

環境システム計測制御学会 企画委員長

植 木 茂

(株日立製作所)

第21回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会ならびに見学会は、10月15日 (木)、16日 (金) の両日、岡山市で開催されました。研究発表会では岡山大学創立五十周年記念館で開催され、144名の皆様の来場を頂き、活発な討議が行われ、翌日の見学会には34名の方に参加頂きました。本研究発表会は、本学会が隔年で全国各地をまわり、各地域での活動を広げる目的で開催している研究発表会で、本年は岡山大学廃棄物マネジメント研究センター殿、岡山市殿ならびに倉敷市殿に後援いただき開催したものです。ご協力頂きました関係各位、ならびにご参加いただきました会員各位に厚く御礼申し上げます。以下、本研究発表会の全体概要についてご報告致します。

研究発表会は本会の実行委員長としてご尽力をいただいた岡山大学廃棄物マネジメントセンター教授の藤原健史先生の開会挨拶に始まり、来賓挨拶として岡山大学副学長の曾良達生先生、岡山市副市長の村手 聡



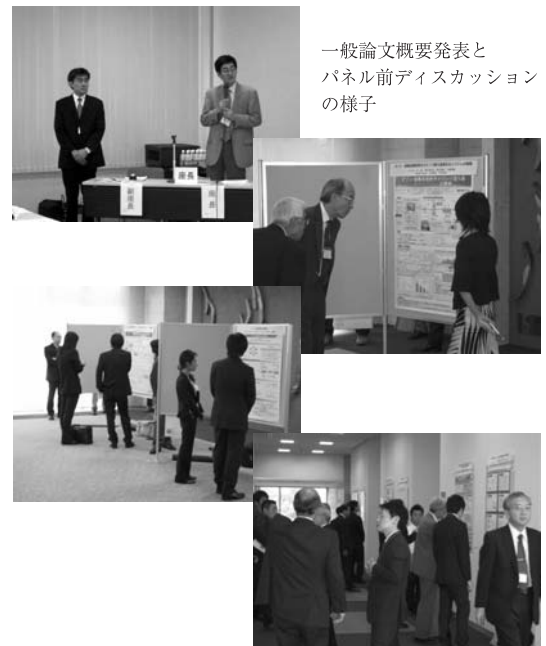
研究発表会 会場

様、EICA 会長の田中宏明様より挨拶を頂きました。

続いて研究発表一般論文 20 編について概要の口頭発表があり、発表後はパネル前での活発なディスカッションが行われました。また、EICA 若手技術者と研究者による未来プロジェクトの卒業生らによる (仮称) 未来創造プロジェクトの活動宣言がありました。未来プロジェクトも 4 期を終え、当初の目的であった多次元ネットワークが確実に広がりを見せていること



ご来賓頂きました、曾良 岡山大学副学長(写真上)と村手 岡山市副市長(写真下)の挨拶



一般論文概要発表と
パネル前ディスカッション
の様子



論文奨励賞 授賞式

で、新たな活動に大いに期待したいところです。

午後からはセッションⅠ：計測・制御，セッションⅡ：環境監視・影響評価が行われ，研究発表論文とノート（査読付）の6論文の口頭発表と質疑応答があり，ここでも活発なディスカッションが行われました。

引き続き，奨励論文の表彰式が行われ，EICA6編の論文が奨励論文として選考され，田中宏明会長より賞状と副賞が手渡されました。

講演の部では特別講演Ⅰとして，倉敷市「蔵おこし湧々代表理事の石村陽子様による「倉敷川再生活動～生命あふれる清流に～」について，引き続き特別講演Ⅱとして岡山市企画局 局長の進龍太郎様による「岡山市都市ビジョン」についてご講演を頂きました。日本一の知名度を誇る倉敷美観地区の清流を守る活動と，平成21年4月に政令指定都市となった岡山市の水と緑を大切にす都市ビジョンは，水環境に関わる技術者と研究者にとって大変興味深いものでした。引き続き，岡山大学廃棄物マネジメントセンターの藤原健史教授による「循環社会を目指して～廃棄物マネジメント学の役割～」について基調講演を頂きました。循環型社会のために必要なバックキャスト型の目標設定や再資源化製品の安全性担保など，廃棄物マネジメント

学の役割について大変わかりやすく講演頂きました。

会場を岡山大学ピーチユニオンに移動し開催された交流会では，ご来賓，講師の諸先生と参加者が岡山の特産品に囲まれ，有意義な意見の交換の場となりました。

16日（金）の見学会ではJR岡山駅を出発し，午前岡山水道記念館および三野浄水場の施設見学が行われました。その後は岡山城と日本三大庭園である後楽園の見学を行い，途中で瀬戸大橋の与島での昼食をはさみ，午後は倉敷美観地区の後，解散となりました。

今回の研究発表会でなされた様々な情報交換，議論が来年の研究発表会へとつなぐれ，更に多くの研究成果が生まれることを祈念いたします。

特別講演Ⅰの
石村氏特別講演Ⅱの
進氏基調講演の
藤原教授三野浄水場（上）と
岡山市水道記念館見
学
会後楽園（上）と
倉敷美観地区